

## \* 東京天文台クラブ新聞「プラターヌ」22 号 (昭和 41 年 6 月号)

昭和 41 年(1966 年)4 月、筆者が岡山天体物理観測所から東京天文台恒星分類部に転勤した年月である。その頃、東京天文台には親睦機関として「東京天文台クラブ」というものがあった。その機関紙としてガリ版刷りの「プラターヌ」という新聞が発行されていた。現在の国立天文台では「国立天文台ニュース」という公のニュースが発行され、新入職員などの紹介もあるが、当時は「プラターヌ」がその役割をしていた。表記の「プラターヌ 22 号」は昭和 41 年 6 月発行でその 4 月 1 日付けで転勤した人、退職した人、入台した人、転勤でやってきた人などの紹介記事が載っている。

筆者は既に 66 歳、東京に転勤してきたのは 23 歳であった。42 年も昔のことである。この数字、勘定があっていない、8 月に誕生日を迎えたからである。この新聞では筆者は分光部に転入したことになる。昭和 41 年 4 月に元台長大沢先生の講座「恒星分類」が新設されたが、大沢清輝、末元善三郎、斉藤国治 3 教授の部はそれまで分光部といていた。そこでその 4 月から分光部は恒星分光部、恒星分類部の 2 つになったのである。恒星分類部長は大沢先生、恒星分光部長は斎藤先生であった。末元先生は畑中先生の死去に伴い東大天文学教室に移っていた。斎藤先生は日食観測を専門にやられていた太陽の専門家であったから「恒星分光」とは奇妙であった。東京天文台には太陽を専門に研究する太陽物理部があったのである。しかし、考えてみれば太陽が一番近い恒星だ、不思議でもなんでもない。この 4 月には、6 人が天文台を去り、16 人が天文台に入っている。今では考えられない出入りである。定年延長があったこともあり、筆者の同期の桜が現在でも 4 人在籍している。西野洋平、宮下暁彦、中桐正夫、宮下正邦である。新入台員の紹介はクラブの委員がインタビューして書いているから、その表題がなかなか面白い。「バス停のツル」(飛田恭子)、「蝶を集めて何百種」(宮下暁彦)、「等身大の吉永小百合」(中桐正夫)、「歌謡少年」(宮下正邦)、「声はすれども」(園田和子)といった具合である。「声はすれども」の人は交換手で採用された人である。今時の御仁には想像できないだろうが、その頃の電話は交換手が繋いでいた。筆者のいた岡山天体物観測所から三鷹の東京天文台に電話をかけるには交換手に申し込んで 2 時間もかかってやっと繋がっていた時代である。

この「プラターヌ」の記事を見ると世相もうかがえる、天文台の中の「靴屋」さんの広告がある、クラブはお金に困った人に貸し出す「貸出金庫」をもっていた、野球部の活躍と共に新しいキャッチャーとして筆者が紹介されている。乗鞍コロナ観測所からは「コロナだより」が寄せられている。クラブでは全台的な行事もやっていて、夏のキャンプの案内も載っている。40 年以上前の天文台を知る新聞である。全号揃うとこれもいいアーカイブデータであるが、筆者の元には 20 号しかない。図 1、図 2 に 22 号を紹介する。

No. 22

昭和41年6月

# プラターヌ

東京天文台クラブ  
常任委員会発行

## 特集

## 新会員紹介

昭和41年度第1任委員会

専任	代表	会	針	新藤	千恵
専任	副	会	宮本	文子	専任
専任	副	会	神	専任	専任

よりよいクラブを創ってゆく  
たか  
また  
専任  
は何かをしてよく覚悟でありま  
す。どうぞ、皆様方にも御座  
御正、御座りませう。お祈  
り申し上げます。

クラシックギターもやる。天文  
台は時間的に楽であるとのこと。  
家では今、相模原へ引越しした  
ばかりなのでその整理でなくて  
まい。もうでない時はテレビを  
みたり、好きな料理しゅうを  
ゴロゴロしたり……。お祈  
りは5、6年前まで天文台に勤務  
していた。

### ひげのおジさん

○ 下村 潤二郎 (専務部)  
いわずとした専務長さんで  
ある。この人なかなか忙しくて  
(さすが専務長ともなれば多忙  
を極める) インタビュー出来ず  
声と一寸見の印象だけで紹介す  
る。ちょびひげをつけている人  
に悪い人はいない。声も(電話  
の)仲々感じがよい。会えばい  
うる面白いことが聞けそうだった  
のに残念である。

### 巨人か酒か

○ 池老沢 朝夫 (専務部)  
紹介するまでもなく、二年並  
く時々天文台へは動きに来てい  
るので知っている者の方が多い  
かも知れない。将棋と野球が好  
きで、特に野球はやる方も見る  
方も。人も知る巨人ファン。一  
読によると巨人の降った次の日  
はうれしくてポーツとなり仕事  
にどりかかるといふ話があること  
のこと。逆に降った次の日は  
全くはたで見るのもあわれな位  
しょんぼりとしていて、あやて  
ものが音典を持って来たとか来  
なかったとかしその痛さだから  
す)。酒は恋なし。仕事はよく  
やる。後年代言さんには彼のお  
父さん。

### うちのとうちゃん...

○ 田代 とも (専務部)  
クラブ入会申込書の趣味欄に  
お花とあったが、これは世を思  
が夜の趣味。実はおせっじが前  
よりの楽しみ。誠に仕事柄いい  
所趣味である。明るく活発で感  
じのいい人。座右に一言即本人  
の言葉「うちのとうちゃん  
もこちらで働いていたの」成田  
代さんの奥さんである。

### 釣哲学者

○ 藤本 勇 (専務部)  
小坂だどこが気品がある。  
工場勤務さんのお父上。この  
人の趣味は 一趣味というより  
達人の域に達しているものに釣  
がある。定年前までのさる会社  
では10数年間釣部の部長として  
活躍してきた。今までの記録の  
中には、一日ハゼ600匹とい  
うのがある。余り釣り過ぎて家へ  
持ち帰ったら多すぎて処置に困  
ると家人に大喧嘩いわれたとか  
ただだんに魚をとるばかりでな  
く独自の釣哲学を持っている。

### 声はすれども...

○ 園田 和子 (専務部)  
声はすれども顔は見えず。声  
だけは誰でも知っているが顔  
は知らないだろう。交換際、  
もし顔が見たくば車庫室へ来る  
といい、時々、野炊に交って美  
女が白いほほを上着させてやっ  
ている姿を見ることが出来る。交  
換室には好きで来たとのこと。  
言葉使いがむずかしいとのこと  
だが、どうして立派なもの。既  
画はよく見る。表は中野のくせ  
に行きな映画は池袋までも足を  
のぼすファイトを持つ。レコー  
ドはモダンジャズ以外な人で3集の

### 「駄前」と「クレージー」

○ 板根 薫 (専務部)  
所愛課の机に一日かじりつ  
いでいるので(意味は家の近い  
から食べに帰るのでないが)  
入会したことを知らない人の方  
が多いかも知れない。高校時代  
体操部でできたせいか、肉質  
のとれた体は魅力的。映画は  
よく見る。ことに東野の駄前  
シリーズとクレージーシリーズの  
映画は絶対欠かさないとのこと。  
恋愛物は?と聞いたら見なくも  
ないけど...。とのことだが、  
またまた音楽よりはしが転んで  
も...のお早頃。

### 泳げば2Km

○ 別田 聰 (計算施設)  
千葉の生まれの山登り。一見、  
会った感じはもの程かな苦勞だ  
が...。(まだ本姓あわわして  
ない?) 水泳得意。2Km位  
は朝のし前とのこと。天文台へ  
入った理由は、どこへもいくこ  
ろがないので仕方ないので  
とのことだが、入ってみると計  
算機なんがいしくりまわして経  
構面白そう。学校では同じ年代  
の選手とはかりつききって来た  
ので早急着のひろきのある天文  
台は一すつまらないとのこと。  
だが同じ部員に同じく千葉で釣  
た相模というのがいてうまくや  
っているようだ。

### 電子計算機と共にやて来た

○ 重田 義明 (計算施設)  
今春、天文台に電子計算機  
ONITAC 5090 が入ったがその  
付属品(?)として沖の会社より  
販入された。重田という名前が

らは黒内力士の予;コ星を連  
するが、仲々どうしてスマー  
な者紳士(服の趣味も近頃  
の若いものに似て仲々よい。色  
の黒さも秀つしさを重んじて、  
話しはせれをゆきさるような京  
なまりのやわらかい言葉(京都  
の響)、野炊のしほりまし、

### 読めますか?

○ 池田 幸 (天体観望部)  
上の名前はどう読む? スカ  
リヤ、モトイと読む。珍らしい  
名前である。聞くところによ  
ると、川越の奥の方の一部が会  
部定清谷という姓をもつところ  
があるそうだ。天文が好きで利  
からアルハイムで来ていた。今  
春大学を卒業し、正に入部。今  
きは川崎が通っている。趣味  
は写真。名前に似あわずどし  
りと落着いた感じ。

### 東側のトイレ番

○ 土野 洋平 (天体観望部)  
去年、長野県飯田の専任を出  
た。郷里では、にきりのしを  
たつ。みつもって、運なきと  
ころを踏みわけ、熊世を踏みし  
だいて、山奥にかけ行くことが  
あったらしい。本舎の山登り  
も好きかも知れない。また一方  
地面をじっと見つめて、鏡の  
等々をみているような時もある。  
愛読書は「荒虫記」、現在合宿  
の住人、東側の便所の番をして  
いるのである。フォーアソング  
が好きとのこと。

### 麻雀の強化合宿

○ 川尻 轟夫 (天体観望部)  
郵政省電研所よりの国内留学  
者。スポーツは野球、足球、卓  
球と一応こなす。また、ドライ  
ブ、スキー、登山、麻雀と趣味  
も種々。ことに麻雀については  
昭和35年の秋、南極観測のとき  
同行して、6ヶ月というもの  
「南」の地にてみっちり強化合  
宿で集中研鑽されたよし、ねば  
り強さが倍々とか。

### バス停のツル

○ 飛田 泰子 (観望部)  
音楽の好きなお婆さん。スマ  
ートである。天文台正門前のあ  
つかうと探ったバス停で、  
帰りのバスを待っている姿は、  
さながら鶴が長い降りたよう。  
(オーバーかな?) 大学時代  
ブリーフラブのアルトをやり、

### 蝶を集めて何百種

○ 宮下 虎彦 (観望部)  
長野県飯田のほとりてとれた。  
山田新うらしく、趣味は釣  
山、またキアア一少しかきなら  
す程度にやる。もう一つ南  
趣味をもつ。それは、蝶の採  
集。標本作り、標本に思ふ。  
標本採集にはことかひず。今まで  
集めた種類は10種を越える。  
採集ながら、標本は長野にある  
とのこと。夜の蝶を追いまわす  
にはまたまた得意なお早頃。

### 等身大の吉永小百合

○ 中岡 正夫 (分光部)  
岡山より移ってきた。趣味は  
スポーツのことだが、それは  
どうでもいい。まづ書かされ  
ばならないのは、吉永小百合と  
中岡正夫の関係、向こうじゃな  
んと思っているかも知れないが、  
とにかく大のファン。どの程度  
か知りたかったら、一寸船橋の  
305号へ行くといい。写真と名  
のつくものは全て吉永小百合の  
顔である。単なるスチール写真  
から、雑誌の表紙、カレンダー  
まではマツチのレタレまで。こ  
れで驚くのはまた新しい。岡山に  
は等身大の吉永小百合写真像(本  
舎とが旅行の機によくあるやつ)  
が安置されているとのこと。  
まわりのもの弁では長がいつ  
たらこんな風になっていたよし、  
-新会員紹介2面へつづく-

図1 「プラターヌ」22号1面

東京天文台クラブは、組合につぶされた。組合の福利厚生活動と重複しているので組合

## 夏のキャンプ場決まる!

### 一次号キャンプ特集号にて 詳細発表

今年のクラブのキャンプは  
陣馬山下「陣馬高原キャンプ  
場」にさめました。

場所は、八王子から陣馬街道  
を西へ約15 km、東  
京都と神奈川の境  
陣馬山です。標  
高はおよそ400 m。  
盛夏もまた涼しく、  
暑い夏の日を家族  
や友人と共に過ごさ  
れるのもまた一興かと思います。

八王子からバスで約50分、道  
路は大部分舗装されていて、車  
でいられるのもよいでしょう。  
バスの終点から15分ほど、ゆっ

くり歩くともうそこはキャンプ  
場です。今年ほど立派なバ  
ンガローを2棟借り  
ることにしました。

なごは4.5畳に6  
畳、回りの環境もま  
ず申し分ない所です。  
ここから陣馬山頂  
へは約3.5 km、高  
尾 - 陣馬の縦走路まで約1.2  
kmです。

詳しくは次号のプラターヌ、  
キャンプ特集臨時増刊号を御期  
待下さい。近日配布。



### クラブ会員移動状況

退会  
飯野 英子(事務)  
石原 美久(全上)  
小池 陽子(全上)  
池田 雅男(全上)  
竹谷千津子(測光)  
二日市敦治(全上)

入会  
下村潤二郎(事務)  
海老沢朝夫(全上)  
田代 トヨ(全上)  
橋本 勇(全上)  
團田 和子(全上)  
坂本 薫(全上)  
岡田 聡(計測)  
豊田 義明(全上)  
西野 洋平(天測)  
忍清谷 基(全上)  
川尻 轟大(電波)  
飛田 恭子(測光)  
宮下 暁彦(全上)  
中桐 正夫(分光)  
宮下 正邦(太陽)  
松本 宗男(全上)

### 歌謡少年

○ 宮下 正邦(太陽物理部)  
長野の山づル。ヒョロヒョロ  
とよくのひた足は、裕チャンが  
宮下かと思うほど。ずわった誇  
足の始末に困ること。下手  
な卓球技やリヤ上手のことわざ  
(?)通り入台初より大部隊を  
あげたとか。卓球部の希望の一  
人。はずかしがりやのほにかみ  
や、まだまだ童顔の抜けきらぬ  
顔をよく赤くする可愛い背く  
(少年、合宿ではあたりかまわ  
ず歌謡曲を歌ってうるさいとい  
われている。

### ビートルズは見ない

○ 松本 宗男(太陽物理部)  
新写で買ったせい(生乳は  
静岡)色白ぼっちゃり女体型、  
非常におとなしく見える。趣味  
は読書、鉄道模型、レコード鑑  
賞「鑑賞」というからクラシッ  
クかと思いきや、さにあらず、  
ポピュラーな今どきのうるさい  
もの。エレキタンモ、ビート  
ルズの盛もいく夜かは誇ってい  
る由、ビートルズの公演は馬鹿  
らしいからいいとのこと。

### クラブ40年度各部報告 追加

— 総会未発表分 —

#### ◎ 40年度写真部会計報告

受入額	4,650円
支出額	4,650円
残 額	0

支出内訳  
写真用紙10枚 2,000円  
写真用文具類 650円  
送前送料 2,000円  
計 4,650円

#### ◎ 40年度将棋部会計報告

受入額	3,000円
支出額	3,000円
残 額	0

支出内訳  
清 盛 1x650 650円  
新 盛 2x410 820円  
駒 駒 3x510 1,530円  
計 3,000円

### 貸出金庫

御利用下さい

1人 5,000円まで

御申込は 新館2階219号  
宮本まで

TEL(内) 222

### 昭和41年度 各部新実行委員紹介

— 硬式野球部誕生! クラブ員各位の利用をう—

野球部	大塚 浩	山岳部	小林 泰夫
軟式野球部	香西 洋樹	ドングリ	森 敬子
卓球部	松江 光昭	写真部	杉崎 恒夫
釣 部	中山 重義	スキー部	松江 光昭
将棋部	定立 保徳	あらくさ会	岡野 己喜
園芸部	森田 一彰	華道部	早水 園子
音楽部	入江 誠	硬式陸上部	長根 潔

### ▶ ぼうえん・れんず ▶

▷ 皆んなで献血しよう!  
去る6月9日献血が行なわれ  
た。参加者21名。マイクロボス  
で日赤へ。一人200ccの採血だ  
ったが、採血時間は大体4~5  
分、血の多いA君2名ほどで  
ピンからあふれたとか。B君、  
C君は若いのに血圧140ミリ以  
上まきか高血圧と見たら、前  
の晩、飲み過ぎた。

俺の日前では毎日午前9時か  
ら午後4時まで(日・祭日は休  
み)献血を受けている。献血者  
やその家族が輸血を受けるとき  
売血を便やす優先的に献血を使  
ってくださること。血の長い  
多いやつはやった方がいいと思  
うよ。

▷ 野球部 連勝!  
天文台チームは去る4月30日  
竹村工務店を4-3で、また、

6月11日には東大施設部を7-5  
で撃破、戦着をして「アッ」と  
言わしめた。今年は相手、相手  
陣にそれぞれ、豊田、中桐の両  
代を迎えて、欽チャン五りしめ  
との野球部も「まだまだやるぞ  
」の感を深くした。相手チーム

お元氣ですか。こちら、標高  
3000mの乗鞍山頂は6月1日  
にバスが登ってきていよいよ今  
年も夏山シーズンを迎えました。  
長い冬の間、塩の下で、雪  
の粉を待ちつづ  
けた山の草花たち  
はまだ消えやうぬ  
雪をつき破って、  
サンサンと降りそそぐ初夏の陽  
の光を浴びて、やがては、美し  
く、可憐な花を、実をつけるべ  
く、露一杯に葉を広げて、根を

張って養分を吸収しようとして  
います。

そして鳥やけものたちは、冬  
の白い衣表をぬぎすて、夏を  
迎えるための新しいきものを着  
ます。もうしぼ  
くすると、可愛  
らしい子供を連れ  
た散歩道が、そこ  
こに現れるの  
とでしょう。いまや、山は短く  
もはなやかな、歓喜に満ちたシ  
ーズンを迎えようとしています。  
(コロちゃん)



コロナだより

天文台の中の  
靴屋を  
知っていますか

注文と修理  
毎週水曜日  
食堂側で  
営業中

土田靴店

### 夏の暑さを牛乳で勝抜こう!



小岩牛乳  
天文台裏門前・大沢販売店

図2 「プラターヌ」22号2面

さらに書くならば、天文台のなかに散髪屋さんもあった。理髪店が休日の月曜日に天文台で店を開いてくれていたのである。大工さんもいた。塔望遠鏡（タワーと呼んでいた、なぜか今の人はいんシュタイン塔と呼ぶ）のツアイスの配電盤のヒューズが手に入らないので、筆者が配電盤を作り直したとき、大理石の配電盤を細工のしやすい木製に変えた際、天文台の中にいた大工さんに頼んだ。

親睦団体であった「東京天文台クラブ」は全台員がメンバーであった、組合の青年部がその役割を負うようになってから、その性格はすっかり変わってしまった。親睦を深めようという雰囲気も失われていったのであろう。